

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月13日

上場会社名 インターライフホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1418 URL http://www.n-interlife.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 及川 民司
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 川島 仁 (TEL) 03-3547-3227
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	12,961	32.2	227	1.4	233	30.7	171	25.7
26年2月期第3四半期	9,807	△0.9	224	△57.2	178	△65.4	136	△69.8

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 195百万円(56.9%) 26年2月期第3四半期 124百万円(△72.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	8.58	—
26年2月期第3四半期	9.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	12,448	4,267	34.3
26年2月期	9,779	4,131	42.2

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 4,267百万円 26年2月期 4,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	27.9	400	18.0	360	33.4	250	40.8	12.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社サミーデザイン、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	20,010,529株	26年2月期	20,010,529株
27年2月期3Q	79株	26年2月期	79株
27年2月期3Q	20,010,450株	26年2月期3Q	15,015,050株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類2ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、持株会社であり、その業績は主にグループ会社間の内部取引によるものとなるため、個別業績および個別業績予想の開示は省略しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）におけるわが国経済は、消費税引き上げによる影響を残しつつも、雇用・所得環境の改善もあり、政府および日銀の経済・金融政策により企業収益や雇用環境の改善など明るい兆しがみられました。しかしながら、消費動向は低調であり8月より2ヶ月連続で下降するなど、景気回復は足踏みが見られたことを受け、予定されていた消費税率10%への引き上げが1年半先送りされるなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ（当社および連結子会社）におきましては、第2四半期から連結決算に組み入れた株式会社サミーデザインの影響が大きく、内装工事業の売上高は前年同四半期を上回ることになりました。M&Aにより子会社となった2社（平成25年6月株式会社システムエンジニアリング、平成26年7月株式会社サミーデザイン）の売上高は連結売上高に占める割合は高く、グループシナジーを発揮することで、今後も当社グループの業績に大きく貢献するものと見込んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,961百万円（前年同四半期比32.2%増）、営業利益227百万円（前年同四半期比1.4%増）、経常利益233百万円（前年同四半期比30.7%増）、四半期純利益171百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(内装工事業)

主力である内装工事業におきましては、子会社の株式会社日商インターライフおよび株式会社サミーデザインが展開しております。

株式会社日商インターライフでは、専業工事部門と商業施設部門により構成されております。両工事部門ともに販売管理費の抑制や選別受注等を進めることによる利益率の改善に努めました。

専業工事部門におきましては、第2四半期に着工した物件の売上計上が順調に進んだことや、大型物件を取り込んだことにより堅調に推移いたしました。この結果、専業工事部門の売上高は1,351百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。商業施設部門におきましては、得意先の新規出店や改装工事等が少ない状況ではありましたが、株式会社サミーデザインとのグループシナジーを活かし新規案件の取り込みを進めてまいりました。この結果、商業施設部門の売上高は2,627百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

また、平成26年7月より子会社とした株式会社サミーデザインは、主にパチンコ・アミューズメント店舗のデザイン・企画設計施工を一貫体制で行っており、その売上高は1,608百万円となりました。

以上の結果、内装工事業の売上高は5,586百万円（前年同四半期比40.2%増）となりました。

(情報通信事業)

情報通信事業におきましては、子会社の株式会社エヌ・アイ・エル・テレコムが展開しております。

iPhone6の発売開始に伴い販売増を見込んでおりましたが、一部人気機種在庫薄や購買意欲の平穏化などにより販売比率は下がりました。一方iPhone6以外の端末販売や周辺商材の売上は堅調に推移いたしました。

この結果、情報通信事業の売上高は1,687百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

(清掃・メンテナンス事業)

清掃・メンテナンス事業におきましては、子会社のファシリティーマネジメント株式会社が展開しております。

引き続き主要取引先からの受注減は続いておりますが、グループシナジーを活かした新規受注が堅調に推移いたしました。

この結果、清掃・メンテナンス事業の売上高は2,325百万円（前年同四半期比48.4%増）となりました。

(人材派遣事業)

人材派遣事業におきましては、子会社のディーナネットワーク株式会社が展開しております。

警備業を新たに開始し取引店舗の拡大に努めてまいりましたが、引き続き主要取引先からの受注減は続いており、派遣数は伸び悩みました。

この結果、人材派遣事業の売上高は894百万円（前年同四半期比17.5%減）となりました。

(広告代理事業)

広告代理事業におきましては、子会社のアーク・フロント株式会社が展開しております。

得意先において広告関連の受注が増加したことや、7月から始めた景品等の企画提案などの拡大を進めてまいりました。

この結果、広告代理事業の売上高は365百万円（前年同四半期比26.6%増）となりました。

(音響・照明設備工事業)

音響・照明設備工事業におきましては、子会社の株式会社システムエンジニアリングが展開しております。

4月から7月までの閑散期を過ぎ、得意先である大手ゼネコン向けを中心とした売上高は堅調に推移しております。

この結果、音響・照明設備工事業の売上高は1,936百万円（前年第2四半期より連結子会社となったため前年同四半期は1,220百万円）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、従前より保有する不動産からの安定した賃貸収入、前年11月に購入した賃貸物件からの収入などにより計画通り推移しております。

この結果、不動産事業の売上高は165百万円（前年同四半期比150.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,668百万円増加し、12,448百万円となりました。これは、連結対象子会社の増加等により、流動資産において、現金及び預金が951百万円および未成工事支出金が936百万円増加したこと、固定資産において、建物及び構築物が358百万円および土地が355百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2,532百万円増加し、8,180百万円となりました。これは、連結対象子会社の増加等により、支払手形及び工事未払金が808百万円および未成工事受入金が440百万円増加し、子会社株式の取得資金の調達等により、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が813百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、四半期純利益を計上したことなどにより前連結会計年度末に比べて135百万円増加し、4,267百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年11月20日の「業績予想の修正に関するお知らせ」発表時の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結累計期間より、平成26年6月30日付で株式を取得した株式会社サミーデザインを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,406,262	3,357,522
受取手形・完成工事未収入金等	2,115,841	2,491,114
たな卸資産	121,490	129,643
未成工事支出金	490,170	1,427,169
その他	442,644	403,744
貸倒引当金	△28,916	△263,133
流動資産合計	5,547,493	7,546,061
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,518,794	1,876,987
減価償却累計額	△770,457	△815,875
建物・構築物(純額)	748,337	1,061,111
機械・運搬具	26,961	25,176
減価償却累計額	△26,610	△24,965
機械・運搬具(純額)	350	210
土地	2,011,500	2,367,011
その他	135,263	156,875
減価償却累計額	△84,381	△99,822
その他(純額)	50,881	57,052
有形固定資産合計	2,811,070	3,485,386
無形固定資産		
のれん	738,663	679,432
その他	237,218	240,365
無形固定資産合計	975,881	919,797
投資その他の資産		
投資有価証券	203,352	240,838
破産更生債権等	8,901	19,397
その他	283,731	301,697
貸倒引当金	△58,394	△69,090
投資その他の資産合計	437,591	492,842
固定資産合計	4,224,543	4,898,026
繰延資産	7,526	3,961
資産合計	9,779,562	12,448,049

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,772,809	2,581,466
短期借入金	858,728	863,336
1年内返済予定の長期借入金	328,172	591,244
1年内償還予定の社債	16,000	18,000
未払法人税等	45,966	33,306
未成工事受入金	284,916	725,131
賞与引当金	83,157	142,132
完成工事補償引当金	3,393	19,334
その他	255,140	449,610
流動負債合計	3,648,282	5,423,560
固定負債		
社債	18,000	-
長期借入金	1,288,365	1,838,517
退職給付引当金	70,725	89,280
役員退職慰労引当金	30,839	48,840
厚生年金基金解散損失引当金	91,222	91,222
訴訟損失引当金	-	139,343
長期末払金	170,668	170,000
その他	329,771	379,634
固定負債合計	1,999,590	2,756,837
負債合計	5,647,873	8,180,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,979,460	2,979,460
資本剰余金	698,682	698,682
利益剰余金	463,855	575,694
自己株式	△9	△9
株主資本合計	4,141,988	4,253,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,246	19,713
繰延ヘッジ損益	△7,052	△5,889
その他の包括利益累計額合計	△10,299	13,823
純資産合計	4,131,688	4,267,651
負債純資産合計	9,779,562	12,448,049

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	9,807,206	12,961,560
売上原価	8,058,924	10,897,942
売上総利益	1,748,281	2,063,618
販売費及び一般管理費	1,523,710	1,835,834
営業利益	224,571	227,784
営業外収益		
受取利息	875	12,954
受取配当金	147	2,152
受取賃貸料	6,615	12,122
助成金収入	1,000	-
保険解約返戻金	6,507	9,330
その他	5,239	10,769
営業外収益合計	20,384	47,329
営業外費用		
支払利息	26,581	38,402
シンジケートローン手数料	35,111	-
その他	4,638	3,204
営業外費用合計	66,330	41,606
経常利益	178,624	233,506
特別利益		
固定資産売却益	1,622	-
その他	213	-
特別利益合計	1,835	-
特別損失		
固定資産売却損	-	37
固定資産除却損	1,710	4,880
投資有価証券評価損	-	474
訴訟和解金	1,300	-
特別損失合計	3,010	5,392
税金等調整前四半期純利益	177,449	228,114
法人税、住民税及び事業税	48,620	68,000
法人税等調整額	979	△11,757
法人税等合計	49,600	56,243
少数株主損益調整前四半期純利益	127,849	171,870
少数株主損失(△)	△8,863	-
四半期純利益	136,712	171,870

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	127,849	171,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,475	22,960
繰延ヘッジ損益	△6,425	1,162
その他の包括利益合計	△2,950	24,122
四半期包括利益	124,898	195,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,762	195,993
少数株主に係る四半期包括利益	△8,863	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							合計
	内装工事業	情報通信事業	清掃・メンテナンス事業	人材派遣事業	広告代理事業	音響・照明設備工事業	不動産事業	
売上高								
外部顧客への売上高	3,985,339	1,595,313	1,567,333	1,084,113	288,427	1,220,779	65,899	9,807,206
セグメント間の内部売上高又は振替高	71,081	—	156,583	65,568	9,370	—	—	302,603
計	4,056,421	1,595,313	1,723,916	1,149,682	297,797	1,220,779	65,899	10,109,810
セグメント利益	127,929	49,848	86,252	16,453	25,369	63,054	51,713	420,622

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	420,622
セグメント間取引消去	△338,267
のれんの償却額	△42,723
全社収益(注)1	406,637
全社費用(注)2	△221,697
四半期連結損益計算書の営業利益	224,571

(注) 1. 全社収益は、主にグループ会社からの経営指導料等であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した有限会社マネジメントリサーチおよびその子会社株式会社システムエンジニアリングを連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は「音響・照明設備工事業」セグメントにおいて2,698,978千円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、有限会社マネジメントリサーチおよび株式会社システムエンジニアリングを子会社化したことに伴い、「内装工事業」、「情報通信事業」、「清掃・メンテナンス事業」、「人材派遣事業」、「広告宣伝事業」、「不動産事業」の報告セグメントに、「音響・照明設備工事業」を加えております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

平成25年6月3日付で有限会社マネジメントリサーチの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「音響・照明設備工事業」セグメントにおいて672,689千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							合計
	内装工事業	情報通信事業	清掃・メンテナンス事業	人材派遣事業	広告代理事業	音響・照明設備工事業	不動産事業	
売上高								
外部顧客への売上高	5,586,775	1,687,872	2,325,946	894,587	365,009	1,936,277	165,091	12,961,560
セグメント間の内部売上高又は振替高	78,028	—	35,497	75,911	9,824	1,290	3,000	203,552
計	5,664,804	1,687,872	2,361,444	970,498	374,834	1,937,567	168,091	13,165,113
セグメント利益	148,656	98,848	61,985	8,730	28,376	74,278	99,016	519,892

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	519,892
セグメント間取引消去	△282,409
のれんの償却額	△64,067
全社収益(注)1	310,212
全社費用(注)2	△255,843
四半期連結損益計算書の営業利益	227,784

(注) 1. 全社収益は、主にグループ会社からの配当金収入等であります。

2. 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、新たに株式を取得した株式会社サミーデザインを連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は「内装工事業」セグメントにおいて2,603,080千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

平成26年6月30日付で株式会社サミーデザインの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより「内装工事業」セグメントにおいてのれんが5,700千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。